

皮膚科この1年

皮膚科医長 和田 隆

診療体制

医師に関しては平成18年度は、平成17年度に引き続き、和田 隆、大石泰史の2名の診療で行っております。

平成17年4月から2ヶ月に1回旭川医科大学皮膚科学教室より、飯塚一教授に外来診療に来てもらっております。

外来診療

外来は医師2名、看護師2名、看護助手1名で行っております。手術は主として月曜日と木曜日の午後に行っております。昨年は外来患者数は一日平均130名程度と前年度とほぼ同等の人数でした。

皮膚腫瘍の診断に超音波検査を取り入れて積極的に行っております。

病棟診療

病棟は4階西病棟で、ベット数は6床で、昨年度と同様に、平均4人程度入院しております。この1年の入院患者は80名程度でおもな入院患者は、悪性腫瘍や皮膚良性腫瘍の手術患者、帯状疱疹、蜂窩織炎を主体とする感染症、褥瘡や皮膚潰瘍、陥入爪、熱傷、蕁麻疹、蜂刺傷、薬疹などとなっています。手術は1年間で150例程度行っております。主に単純切除術で植皮術が20件程度、皮弁術が10件程度ありました。それ以外に外来にて、小手術、皮膚生検、陥入爪手術、縫合術を150件程度行っております。

平成18年手術内容

皮膚腫瘍単純切除術	121例
腫瘍切除+皮弁形成術	9例
デブリードマン+網状植皮術	5例
腫瘍切除+植皮術	13例

平成18年入院患者数

皮膚良性腫瘍	15名
帯状疱疹	10名
皮膚悪性腫瘍	15名
褥瘡	4名
熱傷	4名
薬疹	5名
蜂巣織炎・丹毒	13名
慢性湿疹	2名
陥入爪	2名
蕁麻疹	5名
皮膚潰瘍	4名
外傷	2名